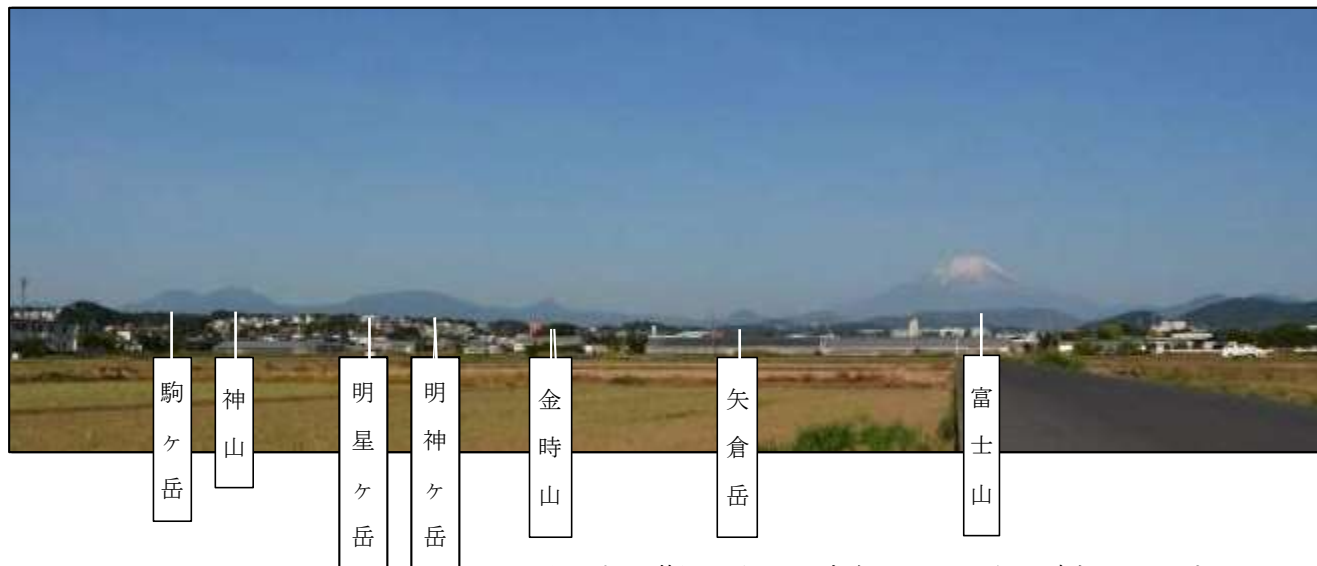


新聞・テレビで連日伝えられている、箱根大涌谷周辺の火山性地震の発生、噴き上がる水蒸気が噴出するニュース。 大爆発の引き金にならないかと危惧されます。

私たちの住む寺田縄地区から富士山や箱根の連山が見通せます。



私たちの菜園から西の方角はこのように遠望できます。
大パノラマの展開です。 (撮影5月11日 7時頃)



この日は快晴で湿度が低く、その上微風です。遠くが見通せる絶好の日和です。
富士山の雪解けの様子、残雪がはっきりと見て取れます。

箱根山の方角に目をやると、神山（箱根最高峰）、冠ヶ岳、台ヶ岳と続く下の方に、雲と見違える白い「もやもや」が見て取れます。以前、HP 2月5日送信の「すわ！！ 箱根火山の噴火」で紹介した記事が想起されました。

見えるのは雲ではありません。空は晴天です。ここ数日来ニュースになっている大涌谷からの水蒸気に違いありません。

朝のウォーキングのさなか、富士山や箱根山の遠望できるところで見えました。急遽、カメラを取りに戻り、写真に収めることができました。



立ち昇る水蒸気ははっきり見えます。自然の営みです。大規模な噴火に拡大しなければと、安じられます。

箱根山の山容・カルデラは、人の力の及ばない噴火の歴史で形成されています。

5月7日 朝日新聞の夕刊記事には「箱根 続く噴火警戒」の大見出しで報道されました。内容は「気象庁は火口周辺の立ち入り規制 レベル2に引き上げた」こと。気象庁の担当者は「大きな噴火が発生するとは考えていない。周辺の温泉施設への影響はない」、「活発な火山活動は少なくとも数か月は続く」と記されています。

日本を代表する温泉の豊富な観光地です。 最新の報道を注視する必要があると思われます。